

# 事故発生状況報告書

様式第2号

## 事故発生状況報告書

甲 (加害運転者)	加害 一郎 (電話) 022-111-2222	乙 (被害者)	国保 太郎 (電話) 022-111-1111	運転	
天候	晴	交通状況	普通	明暗	昼間
道路状況	舗装している	歩道(両・片)	ある	直線	
	平坦	見通し良い			
標識	駐停車禁止	されている	その他		
速度	甲車 30 km/h (制限速度40km/h)		乙車 40 km/h (制限速度40km/h)		
事故現場に於ける自動車と被害者の状況を図示してください。	事故発生状況略図(道路幅をmで記入してください)				
上記図の説明を書いてください。	信号機のある十字路交差点(信号機:青)において、右折してきた甲車と衝突したこと。 図面の説明(事故状況)を簡潔に記入願います。				
報告者の記名捺印が必要になります。					
甲者以外の車について判明している場合、ご記入ください。					
自動車の番号		運転者	氏名	電話	
保有者	〒 住所		氏名	電話	
別紙事故証明書に補足して上記のとおりご報告申し上げます。					
平成20年4月1日					
報告者	甲との関係 ( )	乙との関係 (本人)	国保 太郎	印	

被保険者は、必ずこの欄(被害者)に記入願います。

図面の説明(事故状況)を簡潔に記入願います。

報告者の記名捺印が必要になります。

## 様式の説明

- ・事故発生状況報告書は、過失割合を算定する場合の基礎となる重要なものですから事実に基づき公正に作成してください。
- ・事故現場に信号機がある場合は、色を記入願います。

# 第三者行為基本調査

保険者名を記入願います。

様式第3号

## 第三者行為基本調査書 (交通事故)

保険者名

国保町

事故発生年月日	平成 22年 12月 15日 午前 8時 30分 頃		
事故発生場所	国保町上杉一丁目2番3号		
被害者	住所	〒999-9999 国保町二丁目2-2	
	フリガナ	コクホ タロウ	
	氏名	国保 太郎	男 33才
	職業		TEI 022-111-1111
保有者 (加害者)	住所	〒999-9999 国保町一丁目1-1	
	氏名	加害 花子	契約者との関係 配偶者 TEI 022-111-2222
運転者 (加害者)	住所	〒999-9999 国保町一丁目1-1	
	氏名	加害 一郎	男 23才
有・無	保険会社名 黒字印台名	〇〇損害保険会社 仙台支店	
	証券番号	第 123-456 号	
保険契約者	住所	国保町一丁目1-1	
	氏名	加害 花子	TEI 022-111-2222
加害自動車	種別	普通乗用車	
	登録番号又は車台番号	宮城300あ1111	
保険期間	自 平成21年 4月 1日 ~至 平成23年 4月 1日		
未請求	請求済	仮渡	円 平成 年 月 日頃
	請求済	内払	円
有・無	保険会社名 黒字印台名	▲▲▲▲損害保険会社 仙台支店	
	証券番号	第 ABC-987654 号	担当者名 ■■
任意保険の契約が無い場合は、『無』に○を記入願います。		022-111-2222	
保険期間	自 平成21年 4月 1日 ~至 平成23年 4月 1日		
保健医療機関等		保険証の使用開始日	平成 年 月 日
示談内容	成立 年 月 日、未成立、交渉中 ( 年 月 現在)		
摘要欄	高額療養費の支給	有・無	
	高額介護サービスの支給	有・無	

被害者欄

加害者欄

第三者(加害者)に関する事項

加害者車検証から転記願います。

任意保険担当者名を記入願います。

任意保険の契約が無い場合は、『無』に○を記入願います。

### 様式の説明

- ・第三者行為基本調査書は、請求先を確認する重要な書類ですから、できるだけ詳細に記入してください。
- ・任意保険担当者分かる場合は、記入願います。

# 念書

様式第4-1号

(被保険者用)

## 念書

私が下記交通事故で被った保険事故について、国民健康保険法による保険給付を受けた時は、国民健康保険法第64条第1項の規定により、保険給付額の限度において、貴殿が加害者に対する損害賠償請求権を法律上当然に取得、行使し、かつ賠償金を受領することを理解しましたので、次の事項に同意し、遵守することを書面をもって申し立てます。

- 1 本件保険事故に関して保険給付をしたことを証明するもの（診療報酬明細書等）の写しを宮城県国民健康保険団体連合会が保険会社等（相手方もしくは私が損害賠償請求できる者が加入する自動車保険・自賠責保険会社（共済）等をいう。以下同じ）に提供すること。
- 2 本件保険事故により受診した保険医療機関等及び保険会社等から宮城県国民健康保険団体連合会が事故に関する診療状況及び診断書等の情報の提供を受けること。
- 3 加害者と示談を行おうとする場合は、必ず前もって貴殿にその内容を申し出、承諾を得ること。
- 4 加害者に白紙委任状を渡さないこと。
- 5 加害者側から金品を受けたときは、受領年月日、内かつ遅滞なく貴殿に届け出ること。
- 6 この念書をもって上記2の事項に対応する保険医療機関等及び保険会社等への同意を含むこと。
- 7 この念書を保険医療機関等及び保険会社等へ提示すること。

記名捺印が必要になります。

	平成2
住所	国保町
氏名	国保

交通事故証明書で確認のうえ、事故発生年月日を記入願います。

市町村長  
国保組合理事長 殿

### 記

事故発生年月日	平成19年4月1日		
事故発生場所	国保町上杉一丁目2番3号		
加害者 (運転者)	住所	国保町一丁目1-1	
	氏名	加害 一郎	
被害者 (被保険者)	住所	※	
	氏名	※	誓約者との関係 ※

(注) ※印欄は誓約者と被害者(被保険者)が異なる場合のみ記入してください。

## 様式の説明

- ・被保険者(被害者)に誓約いただくものです。念書の趣旨を十分ご理解のうえ提出ください。誓約者は、被保険者本人ですが、被保険者が未成年の場合は、親権者等の監督義務者の記名捺印が必要となります。
- ・医療費を国民健康保険にて一時的に立替えていることをご理解ください。

# 誓約書

様式第6-1号

(相手者側)

## 誓約書

貴殿の 国民健康保険 の下記被保険者が受けた保険給付は、私の不法行為(交通事故)に基づくものですから、次の事項を順守することを書面をもって誓約いたします。

- 1 貴殿が支払った保険給付費の給付額確定時に、その請求に従って遅滞なく支払います。
- 2 示談は、前もって貴殿の書面承諾を得てから行います。
- 3 貴殿の承諾を得ないで行った示談が、誓約事項に違背することがあっても、誓約書の無効は主張いたしません。この示談による一切の責任は私にありますから、貴殿の指示に忠実に従い義務を履行いたします。
- 4 上記1の支払いに充てるため 〇〇損害 対して有する自動車損害賠償責任保険から受ける償還率として貴殿の優先受領権を認めます。

記名捺印が必要になります。

平成20年4月1日

誓約者	住所	国保町一丁目1-1	
	氏名	加害 一郎	㊟
連帯保証人	住所	国保町一丁目1-1	
	氏名	加害 花子	㊟

市町村長  
国保組合理事長 殿

### 記

保有者	住所	国保町一丁目1-1		
	氏名	加害 花子	証明書番号	1 2 3 - 4 5 6
相手者 (運転者)	住所	※		
	氏名	※	誓約者との関係	※
被害者 (被保険者)	住所	国保町二丁目2-2		
	氏名	国保 太郎		

(注) ※印欄は誓約者と相手者(運転者)が異なる場合のみ記入してください。

## 様式の説明

- ・誓約書は、保険者の代位取得した求償債権の確保するために、加害者に誓約いただくものです。
- ・被害者の過失が大きいなどの理由で記入いただけなかった場合は、その旨余白スペースに記入ください。(例:「加害者の協力を得られなかった」等)

# 人身事故証明書入手不能理由書

別添 4

## 人身事故証明書入手不能理由書

保険会社 御中

### ■ 人身事故扱いの交通事故証明書が入手できなかった理由をお教えてください。

(人身事故扱いの交通事故証明書が添付されていても、被害者の方のお名前がない場合は、記入してください。)

理由

※ 該当する理由に○印をしてください。  
※ 複数に該当する場合は、すべてに○印をしてください。

受傷が軽微で、検査通院のみ(予定を含む)であったため↓

受傷が軽微で、短期間で治療を終了した(もしくは終了予定の)ため↓

公道以外の場所(駐車場、私有地など)で発生した事故のため↓

事故当事者の事情(理由を具体的に) [理由] ↓

その他(理由を具体的に記載してください。) [理由] ↓

該当理由に○をしてください。(複数可)

### ◆ 警察へ、事故発生の届出を行っている場合には、以下に記載してください。

届出警察	警察 担当官 (判明している場合)	届出年月日	年 月 日
------	----------------------	-------	-------

表面へ ※ 交通事故証明書がない場合に限り、事故証明書に名前が無い場合等は次頁の記載が必要です。

### ■ 人身事故の事実を確認するため、関係者の記名・押印をお願いします。

#### ◆ 上記理由により人身事故証明書は取得していませんが、人身事故の事実には相違ありません。

当事者

目撃者

住所 〒123-4567 記入日 25年 3月14日

仙台市青葉区上杉1-2-3

氏名 国

電話 02

記入者に○をしてください。

下記は保険会社が使用しますので記載不要です。

(注) 当欄は、賠償を求める側が、直接、自賠責保険に請求(法第16条請求)する場合には、保険契約者側(契約者、運転者など)の方、または目撃者の方がご記入ください。賠償をした側が請求(法第16条請求)する場合には、賠償を受けた側の方、または目撃者の方がご記入ください。

(保険会社使用欄) 該当する口のすべてに✓する。

責任者	担当者

## 様式の説明

・警察に交通事故の報告をしていない場合や、交通事故証明書の右下「事故の種別」欄が「物件事故」となっている場合には、交通事故のケガに対する損害賠償金の請求ができません。そのため当該事故でケガしたことを証明すると共に、実際は「人身事故」の事故証明書であるべきが「物件事故」として処理された理由を説明するものです。

## ポイント

①交通事故証明書が物件事故の場合及び被害者名の記載がない場合、人身事故証明書入手不能理由書を作成します。